



9月定例会 62億3000万円余の 補正予算などを可決

9月定例会県議会は、9月24日に開会し、10月9日までの16日間の会期で開催されました。災害からの復興支援や地方創生の推進、県政課題に対応した社会資本整備などを盛り込んだ62億3024万8千円の一般会計補正予算案等の知事提出議案、防災・安全交付金の充実・強化を求める意見書案などの議員提出議案が可決されました。

9月補正予算のポイント

- 木曾観光の復興及び更なる振興を支援 4000万円
- 御嶽山噴火災害からの観光復興のため、地域限定優待券の発行、イベントの開催等を実施
- 創業しやすい環境づくりの推進等 5554万円
- 観光地周辺の道路整備 13億2850万円
- 介護人材の定着等の登録等を支援 4920万円
- 介護事業所のOJT充実等を通じた人材定着やマッチングを支援
- 県単独公共事業(部再掲) 43億4527万円
- 補助公共事業 13億7681万円
- 融雪災害による被災箇所等の復旧、道路・河川の計画的修繕等を実施(241か所)
- 神城断層地震地すべり箇所等の復旧、災害時の緊急輸送路確保のための道路整備等を実施(99か所)

平成28年度予算編成等 阿部知事に提言

「信州・新風・みらい」は、10月9日の9月定例会閉会后、255項目に及ぶ「平成28年度予算編成と当面の課題に関する提案書」を、阿部知事に対し下沢代表が手渡しました。

この提案書は、会派に寄せられた県民皆様のご意見やご要望を踏まえたもの(「基本的施策」)22項目、『各部署別施策』



「政策集団」としての立場から渾身の思いを込めて取りまとめました。

冒頭、下沢代表は、「一般質問等での議員提案への対応状況や各種計画の目標と予算との関係等を県民に分かりやすく示すこと」を強く要請しました。

これは、議員からの指摘や提言が、議場のみでの答弁にとどまらず、予

算への反映や取組結果を県民にしっかり公開していく必要性を求めたもので、知事は「答弁などの内容はその後どうなったかは大事だ。議会とも相談していきたい。」と答えました。

このほか、子育て施策や御嶽山等の災害復興、TPP対策、子どもの性被害防止対策、選挙権年齢18歳引き下げへの投票率向上策などの積極的な取り組みを要望しました。

提案書の詳細は、「信州・新風・みらい」のホームページでご覧いただけます。冊子も用意しています。ご希望の方は会派までご連絡ください。

「子どもを性被害から守る 条例モデル」議論

9月定例会閉会后我が会派が行った知事要望の中で、子どもを性被害等から守るための条例制定については、「青少年健全育成県民運動の再構築の方向性を明示し、県民総ぐるみの取組を行うこと」を前提に条例モデルをたたき台として県民議論を尽くした上で結論を得ること」と提言しました。

所管の県民文化健康福祉委員会では、「子どもを性被害から守る」ために、県民の意見を広く聴くことの重要性が確認された。

大北森林組合補助金の不適正受給問題

県は、検証委員会の最終報告を受け、「大北森林組合の補助金不適正受給を踏まえた今後の対応方針」を定め、迅速かつ適正な対応に取り組みとともに、「林務部コンプライアンス推進行動計画」の策定を進めています。

今後大切になければならないことは、万全な再発防止策を講ずるとともに、県民への説明と信頼回復への取り組みであり、これからの森林整備が停滞することなく地に足の着いたしっかりとした取り組みが強く求められています。

進めよう議会改革

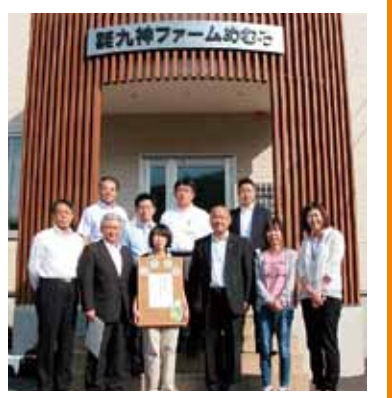
去る10月9日、「県議会選挙区・定数研究会」が委員11人で行うべく発足しました。

我が会派からは高橋宏、小林東一郎、荒井武志の3人が参画しています。過去、2期連続で選

会派、県外先進地調査

(北海道編) 8月31日から9月2日までの3日間、7名が参加し、北海道の食クラスタ推進事業、特別支援教育、障がい者雇用の取り組み状況を調査しました。

障がい者雇用施設「(株)九神ファームめむろ」にて(9/1)



「九神ファームめむろ」にて(9/1)

「地域おこし協力隊」の細川さんと懇談。各議員からの質問にお二人の熱弁が続き、たちまち2時間が経過。障がい者自立の方向性を共有すること

ができました。

また、一人ひとりの障がいの特性に応じた学びの場の提供が大前提という特別支援教育のあり方も学びました。

先の9月議会では、早速調査を基にした提言を

れています。

いずれにしても、条例モデルに盛り込まれていない性教育の取り組みやネット社会に対する教育の一層の充実などを含めた県民議論が展開される中で、確かな方向性を見出し、進めたいものです。

一般質問したところで、(秋田・岩手編) 9月6日から8日までの3日間は、4名が参加。

秋田県では、地方創生の総合戦略や県立の国際教養大学を調査。長野県版の総合戦略や新4年制大学への提言に活かしています。

また、岩手県では、紫波町の循環型まちづくりを視察。森林資源の活用で熱供給サービスが受けられる「オガールタウン」の取り組みは、長野県を林業県として活性化していくために大いに参考にするべきものでした。



同じ会派の寺沢議員の議事を進行

本会議場での一般質問のうち、昼食休憩後から午後3時頃の休憩までを副議長が議事進行を担当します。9月定例会では、質問に立った32人の議員のうち10名を担当しました。

小島康晴の 県政レポート VOL 34

飯田市高羽町3-1-7 TEL・FAX (0265) 23-5388

みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。
長野県議会 信州新風みらい
〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2
電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592
HP:http://shinshinmirai.com
E-mail:info@shinshinmirai.com

県政モニターについて
今回のアンケート項目は、人権意識、自然公園、選挙啓発で、次回は県政の情報発信、信濃の国について、県産農産物の認知度等とのことだが、モニターの皆さんに尋ねるべき現下の最大の課題は現地機関の見直しではないか？

ふるさと住民票について
構想日本などが8月20日「ふるさと住民票」制度を提案したが、県としても2地域居住施策として取り組んではどうか？知事としても、ただちに担当部局に検討を指示してあるとのことでした。

リニア推進体制について
ハード面は建設部、ソフト面は企画振興部と、担当が別れているが、地元では不安や懸念がある一体的な推進体制を望みますか？

阿部知事に意見・要望

毎定例会の前段に知事と正副議長・各派代表者との懇談会が行われます。今回(9月3日)私からは次の3点を提起しました。

副議長公務に東奔西走の日々

南信地域の出身らしさを発揮して

たい。本庁と現地機関との連携もしっかりとっていただきたい。

副議長長の公務から

陳情等の受理

地域や団体からの要望や陳情をお受けするのも正副議長長の重要な公務の一つです。地元の課題と引き比べてみたり、県内の様々な課題について知ることでもできたり、大変勉強にもなっています。



知事との懇談会



天龍村の皆さんと

各種団体の総会・イベント等への出席

県議会の代表としてお招きいただいた会合やイベント等に議長と手分けして出席し、お祝いや激励の言葉を述べています。特に、リニアや三遠南信の総会など、南信地域に関わりの深いものは極力出席するようにしています。



国道151号改良促進期成同盟会総会にて

8月24日、関東甲信越1都9県議会議長会に出席しました。長野県議会からは、「中央新幹線の整備に関連した地域の取組への支援を求めることについて」を私が提案し、全会一致可決されました。採択された議案は、後日国会並びに政府関係機関等へ提出されます。翌日には藤沢市にある「湘南ロボケアセンター」を視察しました。「さがみロボット産業特区」のシンボル施設として位置付けられ、「ロボットストリートHAL」を使用したトレーニング施設と訪問看護及び通所リハビリを行う介護サービス事業所を一体的に運営する、国内最大規模のロボケア複合施設です。

ブロックや全国の議長会

担当部長からは、しっかりと連携して取り組みたいと答えがありました。

県政報告会のご案内

県政報告会を次のとおり開催いたします。お問い合わせ・お申し込みは0265-23-5388までお願いいたします。

日時	11月28日(土)午後4時～
会場	飯田市公民館(吾妻町) 2階会議室
会費	2,000円



買いロボットに驚き

広報委員会活動から

小学生(主として4年生)の皆さんが県庁見学で議場を訪れてくれた際には、できるだけ正副議長や広報委員が説明に当たるようにしています。10月末までに104校6千人余の皆さんに対応し、このうち私は41校(56回)2,161人の皆さんに説明しました。特に母校の丸山小学校の皆さんからは後日心のこもったお礼と感想のお手紙をいただき感無量でした。



丸山小の皆さんに説明

夏休みイベント

県民の皆様身近で開かれた県議会を目指すことを目的として、県庁見学イベントに訪れた小学生らの皆さんに議場を開放し、正副議長らの議事進行による本会議での質疑応答を模擬体験しながら、議会の役割や活動を学んでいただきました。私も知事や議長役を務めました。アンケートによれば、「よい経験になった」との多くの感想をいただきました。



広報委員長としてあいさつ

こんにちは県議会です

10月20日、諏訪清陵高校附属中学校で今年度1回目の「こんにちは県議会です」を開催しました。正副議長、広報委員、地元県議の9名が出席し、2年生75名の皆さんをはじめ約110人の御参加がありました。最初に広報委員から県議会の役割と仕組みや県議会の取組状況について紹介し、続いて生徒の皆さんから、県議会の役割や活動などについて熱心に多くの質問が寄せられました。鋭い再質問や地域活性化への要望に感心させられました。



諏訪清陵高校附属中学校にて

小道木バイパスが開通

念願の小道木バイパスが10月17日開通・供用開始となりました。所要時間は約10分が約2分に短縮されるということです。恒例の「峠の国盗り綱引き合戦」に参加する際、私も通ってみました。誠に快適でした。飯田市街地と遠山谷とのいっそうの一体感、救急医療や防災、そして三遠南信交流のため、おおいに役立つものと期待されます。

